

Atom Livintech IR NEWS

第70期 | 報告書

令和5年7月1日 ▶ 令和6年6月30日

目次

財務ハイライト／主要経営指標 …… P1	財務諸表 …… P6
INTERVIEW …… P2・P3	株主還元／株式の概要／ 会社情報 …… P7
特集 「第12次中期経営計画」 …… P4	シリーズ企画／株主メモ …… P8
TOPICS 「ジャパニーズ インベスター掲載」 「展示会開催・出展」 …… P5	

120th
Anniversary
創業 1903

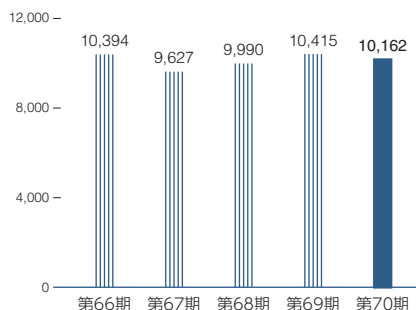
70th
アトムブランド
誕生

財務ハイライト

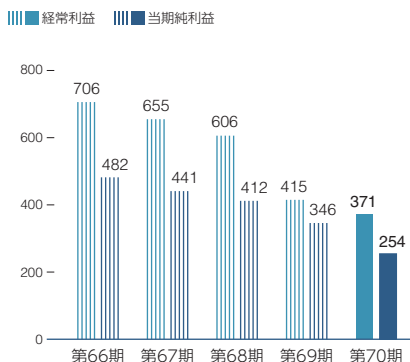
第70期の POINT

第70期の業績につきましては、売上高は101億62百万円(前期比2.4%減)、経常利益は3億71百万円(前期比10.4%減)、当期純利益は2億54百万円(前期比26.6%減)となりました。

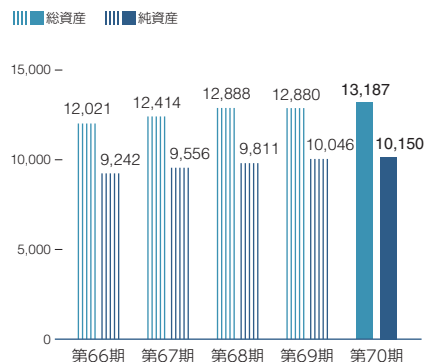
売上高 (百万円)



経常利益／当期純利益 (百万円)



総資産／純資産 (百万円)



主要経営指標

		第66期	第67期	第68期	第69期	第70期
売上高営業利益率	(%)	6.6	6.6	5.8	3.6	3.3
総資本営業利益率 [ROA]	(%)	5.7	5.2	4.6	2.9	2.6
自己資本利益率 [ROE]	(%)	5.3	4.7	4.3	3.5	2.5
流動比率	(%)	298.9	298.4	296.4	300.1	284.9
固定比率	(%)	52.3	51.9	49.7	49.2	50.9
自己資本比率	(%)	76.9	77.0	76.1	78.0	77.0
1株当たり純資産額	(円)	2,316.5	2,395.3	2,459.2	2,518.1	2,544.1
1株当たり当期純利益	(円)	121.0	110.6	103.3	86.9	63.8
期末株価	(円)	1,381	1,472	1,450	1,161	1,366
株価純資産倍率 [PBR]	(倍)	0.60	0.61	0.59	0.46	0.54

持続的成長に向けた新たな付加価値を創出し、 環境変化に即応できる「住空間創造企業」として さらに進化してまいります。

第70期の取り組みと業績について

より現場主義に徹した商品開発に
取り組みながら、お客様との接触機会を増大して
当社商品の魅力を積極的に発信しました。

第70期の経営環境について

第70期は人手不足が深刻さを増し、全産業の重要課題となりました。住宅関連市場を取り巻く環境は、低水準にある住宅ローン金利や住宅ローン減税など、政府による各種住宅取得支援政策が下支えし、既存住宅の流通・リフォーム市場が活性化したもの、新設住宅着工戸数は持家と分譲住宅を中心に低迷する状況が続きました。

一方、アフターコロナにおける生活スタイルや住宅トレンドの変化が新たな商機を生み出しています。リモートワークの普及による住宅内設備や間取りの変更、「生活動線」「家事動線」「衛生動線」の変化による住み替え(建て替え)需要、自然環境との調和や広さを求める郊外型分譲住宅需要、新築住宅価格高騰による建売住宅需要、サステナビリティへの配慮や災害に強い堅牢な住宅需要、抗菌、抗ウイルスや非接触商品の需要など、新たな需要に期待が持てる状況になっています。

第70期の戦略別取り組みと業績について

商品戦略では、お客様のご要望に即応し、より現場主義に徹した柔軟で機動力のある商品開発を目指しました。ソフトクローズ関連商品では、重量用引戸に対応可能な「FC-8100-K 重量用ソフトクローズ」を追加したほか、「FC-101 半自動引

戸クローザーユニット」では一時停止後に自動で閉まるディレイクローズ機能を新たに設定、ユニットを扉の上部に取り付けて2枚以上の扉をシンクロさせる「SU-202連動引戸金具」を追加販売するなど、機能性と利便性の向上を実現しました。また、アトムCSタワー(東京・新橋ショールーム)にホテルの客室をイメージした空間を新設し、使用例や家具商材・その他商品の提案を行うなど、市場ニーズに対応した関連商品の拡充と市場への定着を目指した活動に注力しました。

市場戦略では、金物卸売業界の流通ルートの整備に取り組みとともに、令和6年4月にベトナム・ホーチミン市で開催されたベトナム最大級の建築系展示会「VIETBUILD 2024」に3回目の出展をし、現地の市場調査とともに当社商品の認知度向上に努めました。同月には「2024春の新作発表会・東京展」をアトムCSタワーで開催し、新商品を中心に幅広く商品を紹介しました。また、西日本市場の強化とBCP対策を踏まえた物流拠点の複数化を目的に運用を開始している「広島営業所・C/Dセンター」では、管理運用する商品を徐々に増やしつつ、商品供給面における顧客満足・サービスの維持向上に努めています。

情報システム戦略では、当社の経営管理体制を支える「統合型業務ソフトウェア」の継続的なバージョンアップを実施し、各部門が同システムを最大限に活用することで業務効率ならびに経営効率の一層の向上を図っています。当社の「ものづくり」を紹介するホームページ内の「atom動画ギャラリー」では、商品紹介や設計・施工ガイドなどを動画配信していますが、職人不足が顕著な建築現場で施工方法や手順、金物の調整方法等を明解に確認できる利便性の高い動画コンテンツの整備を進めました。アトムCSタワー内の展示商品の写真や一部商品の動画閲覧が可能な同ホームページ内の「ショールームビュー」の充実も図りました。さらにマンション物件での採用率が高まっているSW移動間仕切システム「SW-900」のパーツ選定ツールを新たに公開するなど、SNSを積極的に活用した販売支援ツールの拡充に努めました。また、当社全額出資の子会社「ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED(ホーチミン市)」では海外向けのホームページを新設し、令和6年1月より運用を開始しています。



こうした取り組みの結果、第70期の業績は、売上高101億62百万円(前期比2.4%減)、営業利益3億33百万円(前期比10.9%減)、経常利益3億71百万円(前期比10.4%減)、当期純利益2億54百万円(前期比26.6%減)で、減収減益となりました。これは、新設住宅着工戸数の減少や原材料価格の高騰を販売価格に転嫁しきれていないことによるものと考えています。

中長期的観点からの取り組みについて

「ものづくり」の原点に立ち返り 付加価値を創出し続けることで 中長期的な安定成長を目指します。

第11次中期経営計画の振り返り

第11次中期経営計画(第68期～第70期)では、「伝統を活かし、変革に挑む」とのスローガンのもと、「ウィズコロナ時代に呼応する事業スタイルの構築」を基本方針に、「新しい生活様式」が求める本質的な要求を見極め、全方位のお客様にご満足いただける商品とサービスを提供し続ける事業スタイルの構築に努めました。結果的には、経営環境の変化に立ち向かう組織づくりが構築されつつあることに加えて、社員一人ひとりが改革に取り組み、自主性・主体性を持った積極的な活動ができましたので、一定の成果があったものと捉えています。

第12次中期経営計画について

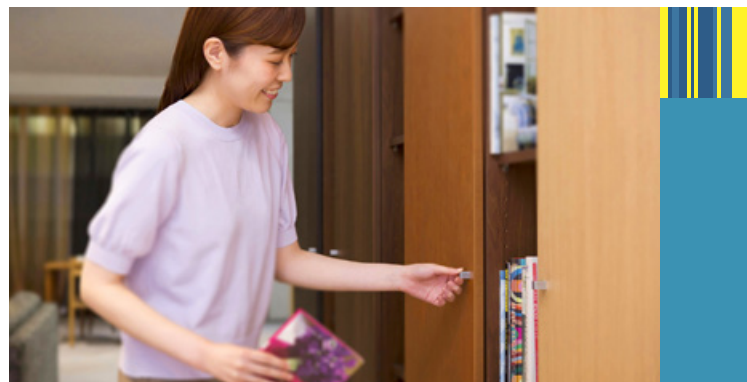
第12次中期経営計画(第71期～第73期)では、前中計でスローガンとしていた「伝統を活かし、変革に挑む」を継承して新たに企業スピリットと設定し、「持続的成長に向けた新たな付加価値の創出」を基本方針に掲げ、「ものづくり」の原点に立ち返ります。本来、当社が取り扱うべき商品の裾野拡大と高収益型企業への回帰が持続的成長には欠かせないものと判断し、非住宅分野(店舗・病院・教育・ホテル・介護福祉施設など)への積極的参入や東南アジア市場における新たなフレームワークを構築するなど、付加価値の創出を目指すことで中長期的に安定した発展を可能にする経営計画としました。

株主の皆様へのメッセージ

株主の皆様とのコミュニケーションを深め 株主利益の向上に努めてまいります。

株主の皆様とのコミュニケーションについて

当社では、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のためには、株主の皆様との積極的な対話を通して、意見や要望



を経営に反映させ、株主の皆様とともに当社を成長させていくことが重要であると認識しております。ホームページ内に「株主・投資家情報サイト」を設けてタイムリーな情報開示を行い、経営戦略や事業環境に関する情報発信をしています。また、令和6年4月にはIR専門雑誌「ジャパニーズ インベスター」121号へ出稿し、当社が周年記念期間にあることをはじめ、成長戦略や事業内容を幅広い投資家の方々に情報提供させていただきました。その後、資料請求をいただいた方々には当社の周年記念誌や広報誌、会社案内など発送させていただいております。今後も引き続き、多様なメディアを通じてのIR活動を展開し、株主・投資家の皆様との密接なコミュニケーションを深める取り組みを進めてまいります。

配当政策について

当社は、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する利益還元を最重要課題として位置付け、積極的な配当を行うことを基本方針に掲げています。第70期の配当金は、上記方針ならびに業績を踏まえ、期末配当金を普通配当の15円に加えて、アトムブランド誕生70周年の記念配当として1株当たり2円50銭増額した17円50銭とし、中間配当金の1株当たり17円50銭(創業120周年記念配当2円50銭を含む)と合わせて年間配当金は35円とさせていただきます。また次期の配当金につきましては、「第12次中期経営計画(第71期～第73期)」の基本方針に基づき、普通配当は1株当たり年間30円(中間15円、期末15円)を予定させていただき、初年度となる第71期の上半期には「法人改組70周年」を迎えることから1株当たり2円50銭の記念配当を予定させていただきつつ、さらなる業績の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、当社の経営方針ならびに経営施策に対するご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

「持続的成長に向けた新たな付加価値の創出」を基本方針に、 第12次中期経営計画がスタートしました。

当社は「伝統」を活かしながら「変革」に果敢に挑む組織の活力によって、ファースト精神（他社に先駆ける進取の精神）を連綿と受け継いできました。そして、新たに第12次中期経営計画を策定しました。新たな一歩を踏み出していくという決意を込めて、刷新した企業ロゴのもと、新たな成長基盤の構築に向けて、住宅関連産業のみならず、非住宅分野（店舗・病院・教育・ホテル・介護福祉施設など）への積極的参入や東南アジア市場における新たなフレームワークの構築を推進することを目指します。また、住宅関連産業における企画開発型企業として、当社独自の開発商品を世に問うことこそ使命とした「ものづくり」の原点に立ち返り、本来、当社が取り扱うべき商品の裾野拡大と高収益型企業への回帰を目標に、ソフトクローズ関連商品に内包する独創性や発展性を活かしつつ、現場主義に徹した商品開発を実践することによって、全方位のお客様にご満足いただける裾野の広い商品とサービスを丁寧に提供し続ける「住空間創造企業」への進化に取り組んでいきます。

加えて、株主様との信頼関係を特に重んじる当社は、株主利益向上を図る経営方針のもと、安定的な配当の継続とともに、株主様との中長期的な信頼関係の維持に努めます。

企業スピリット

伝統を活かし、変革に挑む

基本方針

持続的成長に向けた新たな付加価値の創出

経営戦略

- ▶ 「変革」に挑む、活力ある組織づくり
- ▶ 競争優位性の確保
- ▶ ファースト精神の貫徹
- ▶ 経営環境の変動に左右されにくい社内体制と財務体質の構築
- ▶ 企画開発型企業としての付加価値の創出
- ▶ 安定成長を可能とする市場優位性の維持と収益力の向上
- ▶ 将来を見据えた投資の継続
- ▶ 「内装金物」という事業ドメインと「ATOM」ブランド浸透に向けた取り組み
- ▶ 環境への取り組み
- ▶ 環境・福祉・ユニバーサルデザインに配慮した「ものづくり」の推進
- ▶ 社会性の向上

商品戦略

- ▶ 開発部を主軸にした現場主義に徹した商品開発の具現化
- ▶ ソフトクローズの成功に基づく「ものづくり」の原点回帰
- ▶ より質の高い「企画開発力」の追求
- ▶ 商品開発を円滑に進めるための開発体制の連携強化
- ▶ 「秋の内覧会」と「春の新作発表会」を通じた商品展開と販路拡大の機会創出

市場戦略

- ▶ 商談スペース「LIVIN'ZONE」の刷新と拡充
- ▶ CSタワーの活用による非住宅部門への事業領域の拡大
- ▶ 西日本市場における物流システムの構築
- ▶ 海外での取り組み

情報システム戦略

- ▶ 統合型業務ソフトウェアの継続的バージョンアップ（今後の変革にも対応可能なシステム基盤の再構築）による業務効率の向上
- ▶ SNSを積極的に活用した販売支援ツールの拡充とホームページの最適化

未来を担う次世代に向けた挑戦

新時代のライフスタイルをクリエイイトする
アトムCSタワーの有効活用

- ▶ 内装金物のトップランナーとしての商品力を認知していただく視聴覚スペース
- ▶ 情報発信のキーステーション
- ▶ 次世代に繋がる新規ビジネスの創出

1 『ジャパニーズ インベスター』121号に当社記事が掲載されました

個人投資家のためのフリーマガジン『ジャパニーズ インベスター』121号(令和6年4月発刊)に、当社を紹介する記事が掲載されました。当誌への掲載は、令和4年の113号以来4回目となります。当社の独自性や強みを紹介していただいた紙面となりました。

今後も、個人投資家の皆様に当社の強みや魅力をお伝えできるよう、様々な機会を活用してまいります。

掲載内容

- ▶ 伝統と変革を両立した「内装金物」のトップ企業
- ▶ 好奇心と真摯な対応に基づいた積極的な挑戦が生き残りのカギ
- ▶ 「非住宅」分野への事業拡大と海外拠点に関連する活動に注力
- ▶ 1株当たり30円の普通配当に加えて記念配当の実施を予定



2 東京・ベトナムの2拠点で展示会を開催・出展

令和6年4月18日～20日に東京・新橋のアトムCSタワー、4月10日～14日にベトナム・ホーチミンの2か所で展示会を開催・出展いたしました。東京・ベトナムともに、これまでの展示会よりもバージョンアップした内容でお客様をお迎えし、当社の新たな試みや商品をご体感いただきました。両会場にてご来場、お立ち寄りいただいた皆様、誠にありがとうございました。今回の展示会でご紹介した商品や展示会の詳しい様子については、アトムニュース219号にも掲載しておりますので、併せてご覧ください。

アトムニュース
219号は
こちらから



2024 春の新作発表会 in 東京

TOKYO

CSタワー4階の「非住宅ゾーン」にホテルエリアを新設



Close-up!

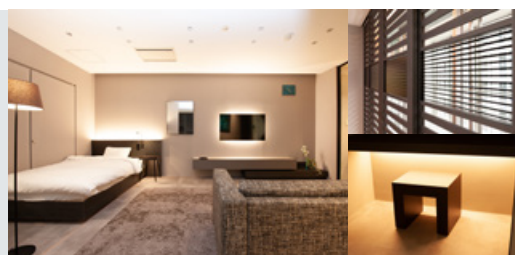
CSタワーにホテルエリアが誕生

インバウンド需要の回復による、新規ホテルの開業・改修需要の増加や、一般住宅においてホテルライクな暮らしニーズの高まりなどから、ホテル施設での当社商品の使用例や提案を行うエリアとして誕生。一歩足を踏みいれると、華やかで豪華さを感じさせるエントランス。ご来場をお待ちしております。

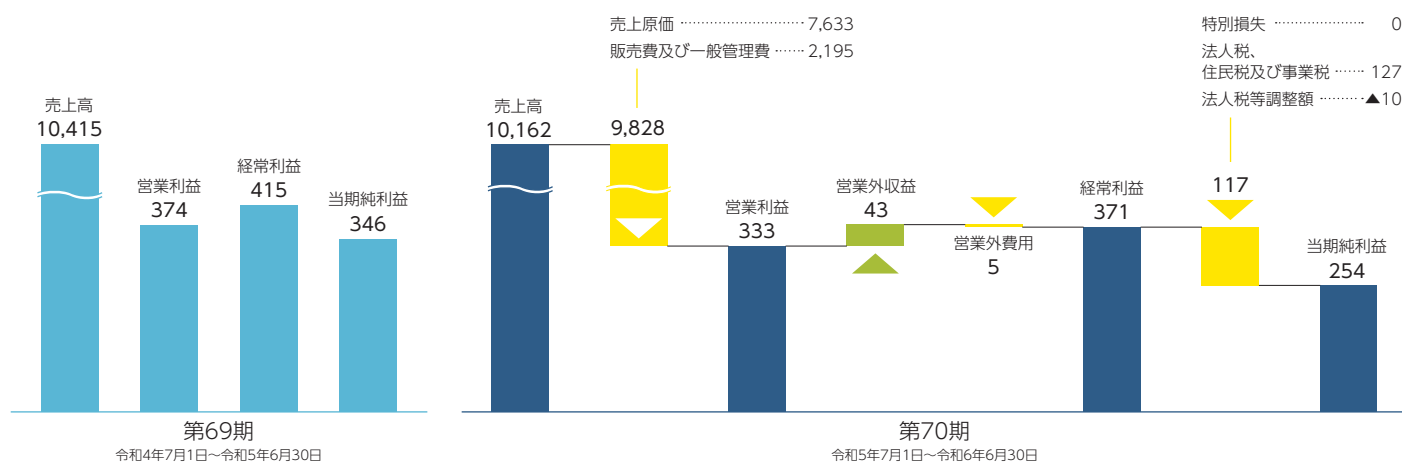
VIETBUILD 2024 in ホーチミン

HO CHI MINH

ベトナム最大級の建築系展示会に出展



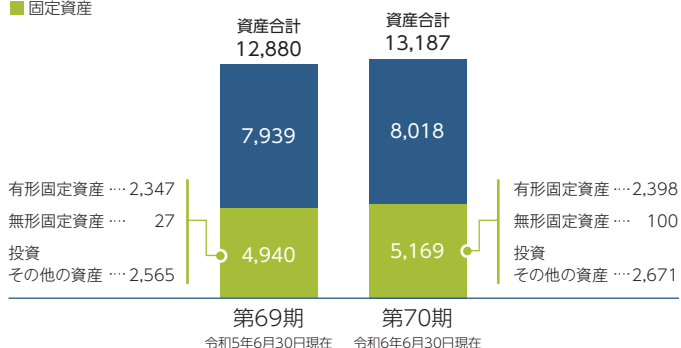
損益計算書の概要 (単位：百万円)



貸借対照表の概要 (単位：百万円)

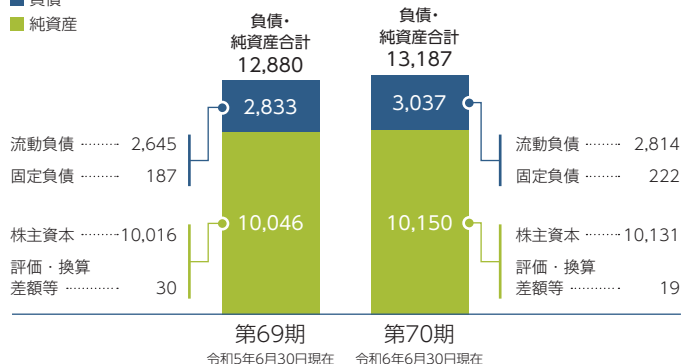
資産の部

■ 流動資産
■ 固定資産

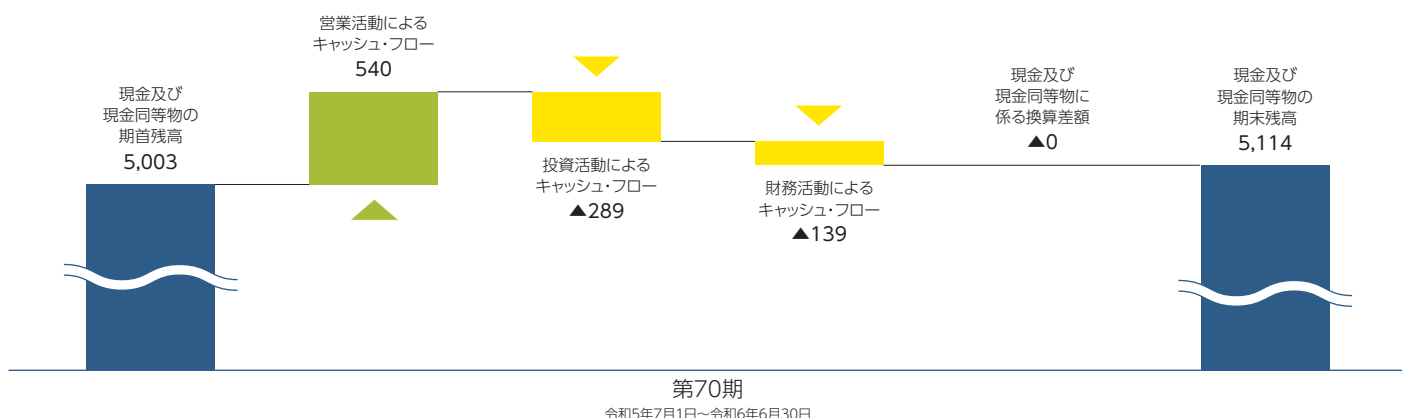


負債・純資産の部

■ 負債
■ 純資産



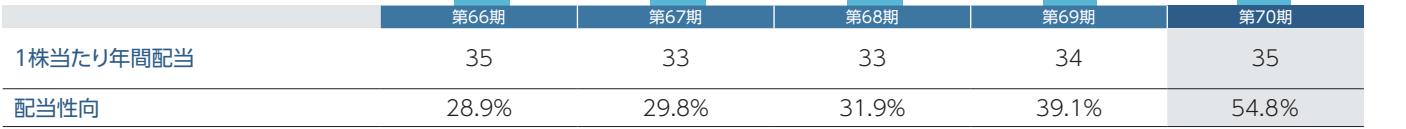
キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



株主還元 (単位:円)

1株当たり配当状況

- 1株当たり期末記念配当
- 1株当たり中間記念配当
- 1株当たり期末配当
- 1株当たり中間配当
- 1株当たり期末特別配当



株式の概要

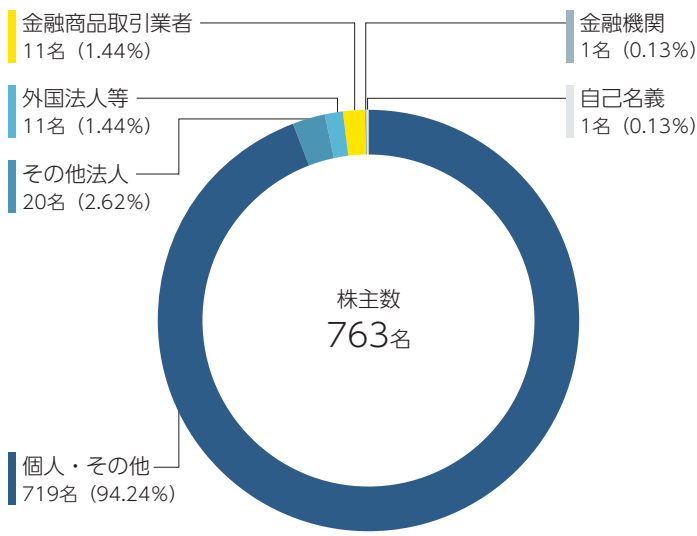
株式状況 令和6年6月30日現在

発行可能株式総数 15,420,000株
発行済株式の総数 4,105,000株
株主数 763名

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
高橋不動産株式会社	885,440	21.56
高橋 快一郎	790,000	19.24
アトムリビンテック取引先持株会	455,800	11.10
アトムリビンテック従業員持株会	276,160	6.72
高橋 壽子	157,000	3.82
アトムリビンテック株式会社	115,243	2.80
大塚 李代	83,800	2.04
磯川産業株式会社	81,500	1.98
岡崎 衛	81,100	1.97
櫻井金属工業株式会社	71,000	1.72

株主の所有者別分布状況 令和6年6月30日現在



会社情報

会社概要 令和6年6月30日現在

商号 アトムリビンテック株式会社
創業 1903年（明治36年）
設立 1954年（昭和29年）10月
事業内容 家具用金物・建具用金物・陳列用金物等、住まいの金物全般の企画・開発・販売
主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社三井住友銀行
従業員数 124名（嘱託6名・パート7名含まず）

役員 令和6年11月12日現在

代表取締役社長	高橋 快一郎	常勤監査役	金子 豊
常務取締役	山口 俊	監査役	小瀧 繁幸
取締役	池井 正彦	社外監査役	高島 良樹
取締役	関内 和貴	社外監査役	雨宮 弘和
社外取締役	山下 剛		

事業所一覧 令和6年9月25日現在

本社 〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号 TEL 03-3876-0600
アトムC/Dセンター（商品本部） 〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎4丁目15番19号 TEL 048-922-5551
札幌営業所 ※令和6年9月9日より下記住所に移転しております。 〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西1丁目1番地 マルイト札幌ビル2階 TEL 011-281-3777
前橋営業所 〒371-0805 群馬県前橋市南町3丁目72番7号 TEL 027-223-2651
広島営業所・C/Dセンター 〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8番地6 TEL 082-291-4235
アトムCSタワー 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目31番5号
アーバンスタイル事業部 TEL 03-3437-3673
ショップ&ショールーム亜吐夢金物館 TEL 03-3437-3440
アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18番地5 TEL 06-6821-7281

海外拠点 令和6年9月25日現在

子会社：ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED
ベトナム社会主義共和国
子会社：上海阿童木建材商貿有限公司
中華人民共和国

アトム
CSタワー
最前線

SPECIAL ISSUE



ギャラリーショップ

KANAGU

～職人技のある暮らしを、スローショッピングで。～

使ってみるとなんだかうれしい、こちいい。
大切な誰かに贈りたくなる、ちょっといいモノ。
デザイン、素材感、仕上げの隅々まで職人のこだわりが詰まった逸品をセレクトしました。
毎日の暮らしに新しい風を運んでくれるような職人がつむぐ「モノ語り」を読みながらあなたのお気に入り、ゆっくり、じっくり見つけてください。



KANAGUとは

職人と職人の出会いから生まれたKANAGU。富山高岡の金属装飾に携わる職人たちとの出会いをきっかけとし、手仕事のぬくもりが伝わる作品をもっと紹介したいと思い、KANAGUは生まれました。美意識と技を持つ職人たちから受け取った熱き想いを「モノ語り」としてお伝えしていきます。

詳しくはこちらを
ご覧ください

https://www.atomlt.com/cstower/category/shop

日米首脳会談の
贈答品に高岡銅器の
アクセサリ「モメンタムファクトリー・Orii」×「FUMIKODA」の
コラボが生み出した上品かつ神秘的な贈り物

令和6年日米首脳会談のバイデン大統領夫人への贈答品に、伝統工芸「高岡銅器」を使用したアクセサリが選ばれました。「高岡銅器」の着色技術を採用した神秘的なターコイズブルーは、モメンタムファクトリー・Oriiの着色です。



贈答されたバングル・ピアス・ネックレスの3点セット
※当ショップでは展示のみとなります。販売はしておりません。

モメンタムファクトリー・Orii について

400年の伝統に培われ、高度な鑄造技術が集積する町、富山県高岡で昭和25年に折井着色所として創業以来、様々な鑄造品の着色を手掛けてきました。

「着色」とは、塗装ではなく、銅や真鍮が持つ腐食性を利用し、薬品や炎をコントロールして、鮮やかな色彩を発色させる伝統技術です。そのため色彩や模様はひとつとして同じものではなく、職人のこだわりと技術が詰まった作品となります。モメンタムファクトリー・Oriiが手掛ける作品は、KANAGUストアでも取り扱っています。大切な方への贈り物などにぜひご利用ください。

商品情報は
こちらから

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月に開催
配当金受領株主 確定日	毎年6月30日 中間配当金を支払うときは毎年12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告(当社のホームページに掲載いたします。) https://www.atomlt.com/ir/financial/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。